とうきょう すくわくプログラム活動報告書(八王子市)

施設名	八王子市立市役所内保育園
担当者名	丸山　絵里　・　中田　訓江

1．活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

浅川沿いに立地し、四季折々の自然を実感できる環境を活かし、活動をすすめる。子どもたちの興味に合わせて、生き物を含む自然をテーマに設定した。

2．活動スケジュール

令和７年度
４月…各クラスでの戸外活動時に自然に触れていくことで活動を開始した。
６月…保育参加にて、保護者と一緒に自然観察を行う。
８月…水遊びを通して、水生生物の模倣遊びを行う。動物の玩具を使い、親近感を持つ。
10 月…親子運動会で、動物のキャラクターとやりとりをしたり、関連した競技を行う。
11 月…鮮魚店に魚を見に行き、魚と食生活とのつながりを知る。生のアジに触れて観察し、調理されたアジをみんなで味わう。
３月…親子で遠足に出かけ、海洋生物を実際に見に行き、生きた本物を実感し、保護者にも参加してもらう。

3．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

自然や生き物に関する絵本を十分用意し、子どもが主体的に手に取って眺められるように設置した。誕生会、水遊びで動物を題材にし、玩具を用いて親近感を持てるような配慮を行った。運動会やお楽しみ会等で活動を知る機会を増やした。また、保護者も参加する行事では一緒にすくわくプログラムの活動を行い、親子遠足では水族館に行って、親子で楽しみながら生物を観察する。

４．探究活動の実践

＜活動の内容＞

・市役所の川魚の水槽を見に行く。　・誕生会、水遊びで魚の種類に触れる。
・運動会で生き物が題材に入った競技に参加する。
・本物の魚に触れ、調理をし、一匹のまま骨を観察したり、身をほぐしてみんなで食べる。
・親子遠足で水族館に行き、本物の海洋生物に触れる。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

・２歳児クラスを中心に活動を進めていくと、自然界の生き物について関心を寄せる子が多くなり、行事では親子で思いきり楽しむ姿が見られた。
・新鮮な状態の魚など、乳幼児が家庭で触れる機会が少ないものに、保育園という環境で触れて、その後調理された一匹丸ごとのままの魚を保育者がほぐし、友だちと一緒に食べることで高い関心を得られ、とてもよく食べていた。

５．振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

初めての試みだったので、子どもたちが関心を持って意識しやすいテーマを設定した。計画に沿って進めるにあたり、０～２歳児に向けてどのような内容が望ましいか、活動する度に試行錯誤を重ね、子どもに負担を掛けず、低年齢でも楽しめる活動を実践することができた。自然豊かな浅川沿いの環境で過ごせる環境を活かし、普段の保育から発展させた内容で、子ども、保護者からも関心を得られたのは大きな成果となった。